

2018年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	国際社会科学部 国際社会科学科 2年（留学年次） 3年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 エディンバラ大学、College of Arts, Humanities & Social Sciences.
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2018年 9月 10日 ～2019年 5月 24日 出国日 2018年 9月 7日 最終帰国日 2019年 5月 29日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく詳細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

語学力に関しては正直言って、留学中の著しい成長は感じられませんでした。次のステップへと進む自信になったことは確かです。特に英語で専門科目を学ぶことへの躊躇いは、かなりなくなったと感じます。同様に、日本以外の教育機関で自身の専門科目を学び、研究することへの意欲が留学前に比べて増しました。

様々な国の同年代の学生と友人になってコミュニケーションをしたのも大切な経験ですが、私にとっては何よりも日本の様々な大学の友人を作れたことが良い経験となりました。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

特にありません。

強いていうなら、自分の寮の周りに何があるか（スーパーマーケットやカフェ・レストランなど）を事前にリサーチしておく、留学先に到着してからスムーズに生活を始めるかなと感じました。何故ならば、私は殆ど基本的な生活用品（衣服を除く）を日本から持参しなかったため、現地で調達する必要があったからです。私は現地に到着するのが午後だったので長時間のフライトで疲れたなか、スーパーやドラッグストアに行き生活用品を揃えるのには一苦労しました。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

講義については、想像していたよりもっと日本的な授業の進め方だと感じました。特にレクチャーは日本の講義の形態と殆ど変わらないと感じました。チュートリアル（演習）の授業もアメリカの大学に通っている友人に聞いていたよりも、受動的で強いストレスを感じることなく受講できました。

教授も日本とはかけ離れているマインドや教え方ではなく、比較的日本的な授業進行や資料を提供していると感じます。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

私はビジネススクールの科目を多く履修していたので、基本的にはエディンバラ大学の中心キャンパスである George Square（ジョージスクエア）で講義を受けていました。ジョージスクエアはエディンバラ大学の施設の中では比較的新しい施設が多く、ウェブサイトで事前に確認し、想像していたものよりもずっと近代的なキャンパスだと言えます。

他の学部は分かりませんが、国際社会科学部から留学する場合は、私が通っていたジョージスクエア内の施設を使用することになると思います。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

語学補習講座は開講されていましたが、申し訳ありません、詳細については忘れてしまいました。ネットで検索してみてください。ただ有料なのは確かで、通常の語学スキルコースと専門分野に特化したトピックや単語を扱うコースなど、いくつかの種類に分かれていました。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

生活面でのサポートについては存じませんが、留学生向けのイベントは Visiting Student Office が主催のものは数回あったと記憶しています。私も参加したことはないので、詳しくは大学 Web サイトで確認するのが良いと思います。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

特にありません。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

海外の中では比較的安全だと感じました。

しかし注意を怠らないようにした方が、トラブルには巻き込まれにくいと思います。特に深夜の Cow Gate 付近は麻薬の売人や酔っ払いなどがちらほら見られるので、気をつけて下さい。深夜の渋谷よりはマシですが。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

想像した以上に各国からの留学生が多いな、という印象が強かったです。

Visiting Student Office の対応がかなり塩対応ですが気にしないで、そういうものだと思って接しましょう。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Organizational Behavior 2 (20 credits)	
International Business: Globalization and Trade 2A (20 credits)	
Introductory Chinese Language 1 (20 credits)	
Human Resource Management 2 (20 credits)	
Business Simulation (20 credits)	
Introductory Chinese Language 2 (20 credits)	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 (Pollock Halls)

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 1,070 ポンド、(日本円) 約 160,000 円

(3) 食事

食事付き (朝・夕) / 自炊 / 外食

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩、計 15 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

良かった点は、日本にいた頃に比べて運動量が減ったので、いい機会になったことです。

悪かった点は、町の中心から離れているので買い物に行くのが面倒だと感じるが多かったです。

4. 費用について

(1) 学 費

交換留学のため学習院の学費のみ

(2) 渡航方法と金額

飛行機 (往復)、(日本円) 約 700,000 円

(3) 生活費

(現地通貨) 月額 約 1,350 ポンド、(日本円) 約 200,000 円

※宿舎費を含めた金額

(4) 費用の持参方法

デビットカード／クレジットカード／現金

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

デビットカードはほとんどの店舗・オンライン決済で使えるので良かったです。また
コンタクトレスカードだと、店舗での決済をスムーズに行えました。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

寮費（朝夕7日間の食事込み）2ヶ月分：300,000円

5. 保険について

(1) 保険会社名

三井住友火災海上保険

(2) 保険料

400,000円

(3) 加入した保険の種類、内容

海外旅行保険

(4) 感想、良かった点・悪かった点

特に使う機会がありませんでしたので、それは良かったなあと感じます

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物（往復）／航空便（復路）

(2) 持って行って良かったと思う物

SIMフリーの携帯、ユニクロのヒートテック、インスタントの日本食

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

夏服

(4) 持って行けば良かったと思う物

ノイズキャンセリングのイヤホン

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

基本的には、毎日何かしらの講義が入っているので、授業に行き、帰宅後は寮の自室で課題の作業をしていました。最初の方は授業後に Princes Street に行ったりもしていましたが、すぐに飽きてしまい、前期の後半からは寮に直帰するようになりました。元気で時間のあるときは、大学のジムにも通っていました。

(2) 週末

課題がある場合は、それを終わらせて、それからジムに行っていました。あとは基本的に寮にいました。たまに友人の寮に行って料理をしたり、映画を見たりしていました。

8. 後輩へのアドバイス等

本当に自炊に自信がない人はケータリング付きの寮にしてもいいと思いますが、JMCC (Pollock Halls のケータリングのレストラン・学食) のご飯は正直言うと食べる喜びを一切感じないですし、室内が騒がしいのでお勧めできません。

履修に関してですが、基本的にどの学年に入るとしても2年生以上の科目、つまり honors は履修不可なので授業選びは慎重に行ってください。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

学習院の単位認定システムの改善を強く求めます。学習院の既存の科目と留学先大学の科目を交換するというシステムだと、何のためにわざわざ海外の大学で学習するのかたまに分からなくなります。そもそも4年間の中で自分勝手に海外の他大学に通うというチョイスをし、学習院大学にご迷惑をおかけしているのは重々承知ですが、この単位認定のシステムにはかなりの疑問が残ります。本末転倒なのではないでしょうか。

加えて、各書類の提出をできるだけメール/デジタルで提出できるようにしていただきたいです。